

台頭する中国、深まる米中対立とその攻防はどこへ向かうのか？米国を代表するアジア専門家の一人で著名な国際政治学者アーロン・フリードバーグ教授（プリンストン大学）が、昨今の日中関係の悪化・中国の行動の変化により米中関係に及ぼす影響、その行動の背景について議論します

講演会の開催

「アジアをめぐる米中対立の現状－最近の中国の動向を踏まえて」

【開催日時】	2013年6月26日(水) 17:00～18:30 (受付開始 16:30～)	
【会場】	日本財団ビル2階 大会議室 (東京都港区赤坂 1-2-2)	
【講演者】	アーロン・フリードバーグ氏	プリンストン大学ウッドロー・ウィルソンスクール教授
【モデレーター】	中西 寛氏	京都大学大学院法学研究科教授
【コメンテーター】	山口 信治氏	防衛省防衛研究所教官
【言語】	日本語、英語 (同時通訳)	

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、公益財団法人笹川平和財団(東京都港区 会長:羽生次郎)は、2013年度「日米オピニオンリーダー交流Ⅱ」事業の一環として米国プリンストン大学教授のアーロン・フリードバーグ氏をお迎えし、6月26日(水)に日本財団ビル(東京都港区赤坂1-2-2)にて講演会を開催致します。当日は、昨今の日中関係の悪化・中国の行動の変化等を受け、米中関係にどのような変化が起こったか、中国の行動の変化の背景にあるものは何かを議論します。モデレーターとして外交安全保障政策、安全保障論をご専門とする京都大学教授の中西寛先生、コメンテーターには、フリードバーグ教授の著書を共訳された、防衛省防衛研究所の山口信治教官をお迎えします。

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせの上、ご来場いただければ幸いです。参加を希望される方はSPFウェブサイト(http://www.spf.org/event/article_9012.html)より6月24日(月)17:00までにお申込みください。

また、取材を希望される方は、フリードバーグ氏のスケジュール調整の都合上 **6月19日(水)までに**次頁の＜FAX送信用紙＞にてご返信ください。

敬具

アーロン・フリードバーグ プリンストン大学ウッドロー・ウィルソンスクール教授 略歴:

アジア・中国問題を専門とする米国の著名な国際政治学者。ジョージ・W・ブッシュ政権下でチェイニー副大統領の国家安全保障担当副補佐官を、またミット・ロムニー氏(2012年アメリカ合衆国大統領選挙共和党候補)のアジア太平洋政策作業チームの共同座長も務めたオピニオンリーダーの一人。

議事次第:	17:00-17:05	主催者あいさつ	笹川平和財団
	17:05-17:50	講演&ディスカッション	フリードバーグ氏の講演後、中西氏、山口氏も交えディスカッションを行います。
	17:50-18:30	質疑応答	

お問い合わせ先:



公益財団法人 笹川平和財団 事業部 広報担当(中原)

電話/FAX: 03-6229-5462/ FAX -5473

メール: spfpr@spf.or.jp

